



看護学分野（修士課程） 在宅看護専門看護師(CNS)コース

2026年4月入学生 募集中

在宅看護専門看護師へのあなたの挑戦を応援します！

- ◆ 働きながら学ぶことをサポートする カリキュラム
- ◆ 通学にも便利な都心の一等地の東京赤坂キャンパス
- ◆ 実習先は都内及神奈川県内訪問看護ステーションと病院

在宅看護CNSコース 修了要件 全40単位以上(2年間)

| | | |
|-----------------|--------|--|
| 共通科目A | 必修8単位 | 看護学研究法、看護教育論、 看護政策論、看護倫理学など |
| 共通科目B | 必修6単位 | 高度実践フィジカルアセスメント論、 高度実践病態生理学、 高度実践臨床薬理学 |
| 専門科目 宮崎久美子さん | 必修26単位 | 高度実践在宅看護学講義 I ~ V、 演習 I、II、実習 I ~ III、 題研究 |



▲東京赤坂キャンパス

(修士課程修了 現在博士課程)
在宅療養している方の支援をしたいと訪問看護ステーションに転職し、より深く学びたいと思い在宅看護専門看護師を目指しました。月・火・水の週3回は訪問看護で勤務し、木・金・土に大学院の講義や実習をしています。講義はオンライン受講が多く、各分野の第一線で活躍している教員・講師から、高度な専門的知識を学ぶことができます。実習では、質の高い臨床指導のもと、在宅看護専門看護師の役割を考えながら、利用者さんと向き合うことができます。大学院の先生や仲間に支えてもらい貴重な体験をさせてもらっています。大学院で学ぶ新たな一步を、ぜひ一緒にしてみませんか。



中島洋子さん(修士課程)

退院支援看護師として働く中、患者さんが退院後に自宅で安心して療養できる環境を調整するためにもっと地域社会の構成を学ぶ必要があると思い、看護専門看護師を目指しました。受験にあたりCNSの方に授業や実習の様子を伺い、入学した時のイメージを膨らませ期待を大きく持って試験に挑みました。

入学にあたり学業との両立のため、勤務調整をする必要がありました。講義と実習は木金土になるため、職場の方に協力いただき通学しています。仕事をしながらの学業は学びをその場で仕事に活かし実践していくことでき、看護の力を実感することができます。大学院で一緒に楽しく学んでいきませんか。



【お問合せ先】

国際医療福祉大学大学院 東京赤坂キャンパス

〒107-8402 東京都港区赤坂4-1-26 TEL : 03-5574-3900(代表)

【担当教員】入学をご希望の方は下記の教員までお気軽にご連絡ください

在宅看護：片平 伸子 katahira-n@iuhw.ac.jp

※看護学分野全体の詳細は、大学院ホームページをご確認ください

https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/faculty/health_welfare/kango/

※看護学分野各領域の説明動画を限定配信しています。下記よりお申し込みいただけますので、ぜひ一度ご覧になって進学をご検討ください！

<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/news/event/10690.html>

※関心をお持ちの方は、7月7日(日)・11月10日(日)開催の大学院オープンキャンパスへ、ぜひお越しください。（看護学分野のみのオープンキャンパスも別日程で企画あり）

メールお待ち
しています

在宅看護CNSコース課題研究一覧

- 複合的課題を持つ利用者支援のための多職種連携における熟練訪問看護師の思考と実践
日本プライマリ・ケア連合学会誌46(2)に原著「複合的課題を持つ利用者支援に対する多職種連携における熟練訪問看護師の思考と実践」として掲載 <https://doi.org/10.14442/generalist.46.52>
- 多問題事例への支援における退院支援看護師のインターク時の思考と行動
日本CNS看護学会学術集会にて発表
- 熟練訪問看護師が家庭訪問時に虐待を発見する視点の分析
日本保健科学学会学術集会にて発表
- 地域生活が困難な利用者への金銭管理支援による生活・健康の変化
—訪問看護師の視点から—
日本在宅看護学会学術集会にて 「地域生活が困難な利用者への訪問看護師による金銭管理支援の実態」として発表
訪問看護と介護29(4)に一部紹介
「訪問看護師による金銭管理支援 暮らしの安定をもたらす看護ケアになった事例より」
<https://webview.isho.jp/journal/detail/abs/10.11477/mf.1688202086>
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の強みと課題～管理者の視点から～
日本在宅ケア学会学術集会にて発表
- 嘔下障害のある高齢者の食事介助に関する支援を経験した訪問看護師が感じる困りごとと工夫
日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会にて発表
- 複数事業所における訪問看護師の連携の利点・課題・工夫
日本保健科学学会学術集会にて発表
- 専門性の高い看護師の同行訪問を受ける訪問看護師の認識-皮膚・排泄ケア認定看護師との同行前後のニーズと評価-日本保健科学学会学術集会にて発表
- 熟練訪問看護師が行う非がん終末期の意思決定が困難な独居高齢者に対する倫理的課題解決への対応とその思考プロセス(仮)
• 訪問看護認定看護師が所属することによる他の在籍する看護師への影響と課題—管理者へのインタビューよりー(仮)
• 生活保護を利用していない生活困窮者への訪問看護師を中心とした支援の実態(仮)

課題研究は日ごろの看護活動とコースの学習の中で導き出された研究疑問をもとに在宅看護の現場の課題の解決に向けた研究のプロセスをたどるものです。

ご自分の活動を振り返って課題を検討し、研究としてアプローチしてみませんか？